

## 自分を信じること

子どもたちは、「バナナ鬼」や、「スーパーだるまさんが転んだ」の鬼遊びが大好きです。捕まっている子がいれば、「自分が行く。」と決めて、勇敢に向かっていく子もいれば、じっと様子を伺い、慎重に近付いていく子もいます。中には、自分の気になる友達が捕まるとすぐに助けに行く子もいます。日頃関わりが少ない相手を助けることもあるので、新たなつながりもできています。「誰を助けたか。」「誰に助けてもらったか。」ということをよく覚えていて、終わった後に「ありがとう」と伝える場面もありました。「どう助けるか。」「どう逃げるか。」をよく考えながら、相手に応じて自分のうごきを合わせていく、しなやかな心と体が育ってきたと感じています。

思い返すと、鬼遊びを積み重ねてきた過程には、様々なドラマがありました。捕まることが嫌で鬼役だけをやっていた子も、今では状況に応じてどちらも楽しんでます。鬼に捕まっても、みんな笑顔なのは、「きっと友達が助けに来てくれる。」と思っているから、安心して捕まっているようにも見えます。「また次がある。」と、自分の力を信じる心だけでなく、「あの子なら来る。」と、友達を信じる心もあるのです。さらに、友達のことを信じていいと思う自分のことを信じる心とも言えます。物事を見通す力でもあり、たくましさとも言えます。これまでの遊びで、うまくいかないことがあっても、繰り返していくうちに様々なことを学んできて、「最後には、うまくいくかもしれない。」と思う気持ちが土台にあります。物事がうまくいくまではずっと失敗かもしれないけれど、それを失敗と言わない知恵がついて、失敗から学べる賢さや粘り強さにつながっているのです。「自分を信じる。相手を信じる。相手を信じている自分を信じる。」というこの循環は、心のたくましさにもつながります。

このことは、子育てをする親にもあてはまります。「子どもに分かるように伝えられる自分を信じる。子どもが自分の力で考えたりやり直したりすることを信じる。子どもの力を信じようとする自分を信じる。」と考えてはいかがでしょうか。子どもに何か言いたくなるときには、我が子が考えて行動する力があると信じて、頭ごなしに怒るのではなく、「理由を知らせてすべき行動を伝える。1回で伝わらなくても、何度か目には伝わると思って待つこと。子どもを信じていることを振り返って実感する。」と言い換えられると感じています。

子どもたちは、考える力を身につけてきています。行動を変える柔軟性も育ってきました。この節目に、子どもの成長をしみじみと振り返りながら、どう支えていくかを考えていきたいものですね。甘えたい気持ちは、しっかりと受け止める。その後、子どもが自分から行動できるためのヒントやきっかけや、困難なことでも前向きに向かう姿勢を示していき、子どもが自分で考えて決めたと実感できるように促してまいります。

## うめのき幼稚園の評価報告について

保護者の皆様には、昨年11月にうめのき幼稚園の教育活動について評価をいただきました。うめのき幼稚園の教職員は、これを踏まえて、今年度一年間の教育内容について振り返り、「自己評価」を実施しました。また、外部からのご意見としても、「学校関係者評価」としてまとめ、概ね肯定的な評価をいただきました。改善点についても協議し、来年度に生かしてまいります。成果と課題について、別紙にてご報告します。

- 1 幼稚園経営報告……………園長の幼稚園経営計画を振り返り、教育活動への取組と評価及び、次年度以降の課題と対応策についてまとめました。
- 2 自己評価報告書……………教職員評価について、園長の「経営計画」に基づき、成果や課題を記載。
- 3 学校関係者評価報告書…学校評議委員会評価（地域協力者による幼稚園教育内容についての評価）

## 最後に

今年度も、保護者の皆様の温かなお力添えがあったおかげで、子どもたちの成長を共に支えることができました。心より感謝申し上げます。今年度生まれた新曲「毎日笑顔をありがとう」の歌詞にあるように、子どもの笑顔に励まされて、なんて幸せな毎日だろうと振り返っています。今後も、うめのき幼稚園の教職員一同、末永くお子様方の成長を応援してまいります。